


(別記様式3)

## 食に関する専門家を派遣した食育啓発活動報告書

学校名 宇都宮市立今泉小学校

学校長名 金子 靖子

該当する番号に○印を、空欄及び【 】内は必要事項をご記入ください。

実施主体	学校名	宇都宮市立今泉小学校		
	住所	宇都宮市元今泉1丁目7番29号		
	学校長名	金子 靖子		
講話等の内容	「地産地消」の利点や取組み、栃木の農業の特徴、農業者の仕事についての講話。			
開催日時	期 日：	令和4年 10月 18日(火)		
	時 間：	14時 50分 ~ 15時 35分		
	場 所：	5年3組教室		
専門家氏名	職 名	営農企画課 青壮年部	氏 名	草野 拓斗様 杉山 司様
	所 属	JAうつのみや		
参加者数	1	児童・生徒(対象学年	5・6学年(給食委員会)	20名程度)
	2	保護者(		名程度)
	3	教職員(		3名程度)
	4	その他(		名程度)
実施の概要 (実施方法・タイムスケジュール・写真等)	14:50~14:55 挨拶・講師紹介 14:55~15:20 講話(草野様より) ・スライドを活用しながら、栃木の農業、地産地消、JAうつのみやについての講話。 15:20~15:30 講話(杉山様より) ・スライドを活用しながら、農家にとって地産地消の利点、農業(農作物・農機具)に関する講話・クイズ。 15:30~15:35 質疑応答 ・講話を聞いた児童が質問や感想の発表。			
実施結果・考察 (評価と今後の活用方法)	児童は、講話をメモを取りながらよく聞いていた。特に関心があった内容は、自分の生活に結びつく講話だった。学校周辺には田畑がないため、農業体験をする機会や農業・農家について身近に感じる事が少ない。実際に農作物を見たり、講話を聞いたりし、「地産地消」について知ることができた。農業者と消費者の関連性や給食(米・パンの小麦粉は宇都宮市産)等について学んだ。今後は学級ごとにまとめをする。まとめ方としては、新聞・ポスター・スライド(1人1台端末)とし、いくつかの学級は校内放送で地産地消について発表をする予定。また、給食委員会のみならず、各教科(生活科・社会科・総合的な学習の時間)で野菜の育て方や米作りに関して等の講話をしていただく計画を進めていきたい。			

(別記様式3)

### 食に関する専門家を派遣した食育啓発活動報告書

学校名 栃木県立栃木特別支援学校

学校長名 小島 圭子

該当する番号に○印を、空欄及び【 】内は必要事項をご記入ください。

実施主体	学校名	栃木県立栃木特別支援学校		
	住所	〒328-0067 栃木市皆川城内町1053		
	学校長名	小島 圭子		
講話等の内容	摂食・嚥下障害に関すること			
開催日時	期 日 :	令和4年 8月 30日 ( 火 )		
	時 間 :	10時 00分 ~ 11時 15分		
	場 所 :	音楽室と各教室 (音楽室を拠点としたTeams配信)		
専門家氏名	職 名	歯科医師	氏 名	仁平 暢子
	所 属	とちぎ歯の健康センター診療所 専任歯科医師		
参加者数	1	児童・生徒(対象学年 学年 名程度)		
	2	保護者( 名程度)		
	3	教職員( 150 名程度) ※寄宿舎職員15名、学校看護師1名含む		
	4	その他( 名程度)		
実施の概要 (実施方法・タイムスケジュール・写真等)	・音楽室を拠点にTeams配信。各教室4~6名でギガタブレットと電子黒板を利用して視聴した。 9:25~ 講師来校 9:30~ 校長室にて挨拶 9:45~ 音楽室にて動作確認等準備 10:00~ 研修開始 (Teams配信) 11:15 研修終了 11:30~ 校長室にて挨拶			
実施結果・考察 (評価と今後の活用方法)	・摂食嚥下機能の基礎基本を細かく教えていただいた。摂食機能の獲得段階を知ること、それぞれの職員が関わっている児童生徒の実態を思い浮かべながら、現状を確認することができ、給食の形状や食べ方を改めて見直すことが重要だと感じた。また、窒息事故や喉に食べ物を詰ませた状態の危険性についても再確認することができた。今後の指導の現場で、常に緊張感を持って指導にあたる重要性和、姿勢や食具等の見直しなど指導に活かしていきたい。 ・今回の内容は基礎基本が充実しており、1時間では内容が多いという感じであった。今後は、研修内容をもう少し絞って依頼できるとよいと感じた。			